

全校朝会 「 幅広く、つながりを考えて学習しよう ～2～ 」

令和7年9月8日（月）

奥沢小学校長 前田 恵里

初めに、6年生が行った日光林間学園の様子を写真と共に紹介します。「日光を学びにつなげ、安全を心がけよう」をスローガンに、様々な体験をしてきました。6年生は日光での学びを振り返りましょう。＜紹介略＞



今日も、「よく考えること」のお話です。よく考えてみるということは、学んだこと、経験したこと、友達の見解などを合体させて、新しい自分の考えを創り出すということと話しました。また、これは、未来で役に立つ考え方になります。何故なら、皆さんが大人になる近い未来の生活は、今とガラリと変わると予測されています。その中で生きていくには、そのガラリと変わった社会に合わせて、新しいことを考えていかなければならないからです。

では、クイズです。これから見せる写真から、何が発明や改良に役に立ったのかを考えてみましょう。

1, カワセミ → 新幹線 ※以前の新幹線は騒音が大きい問題があった。カワセミの口ばしを真似て先頭車両を作ったところ、問題が解決された。

2, 板チョコ → カッターナイフ（折るタイプ） ※それまでのカッターナイフは、切れ味がなくなると捨ててしまってもったいないという問題がありました。日本人が板チョコをヒントに折るタイプのカッターナイフを考え、折った後にまた良く切れるようなカッターナイフを発明した。

今度は逆です。今から見せる写真は、何をヒントにして発明されたでしょう。

3, マジックテープ → ゴボウの実 ※スイスのある人が、山に出かけた時に自分の服や愛犬にたくさん付着したゴボウの実の表面を顕微鏡で調べ、その形から引っ付く理由がわかり、参考にしてマジックテープを発明した。

4, 注射針（痛みをおさえる） → 蚊の針 ※蚊に刺されてもいたくないことに着目し、蚊の針を研究し、痛みを抑える注射針を制作した。これも日本人の発明です。

新幹線、マジックテープ、カッターナイフ、注射針以外にも、多くのことが他のことや前に見たものなどを参考にして、創り出されています。

大発明家で有名なエジソンは、「新しいアイデアといっても、そのもとになったネタ・考え方・やり方がある。」と考えていたそうです。

このように学習や生活の中で、何かの問題を解決したり、新しいアイデアを出したりする時には、必ず何かヒントがあります。夢ある未来を創るために、ヒントを見つける考え方を身に付けましょう。国語の学習の時に理科や生活科などで学習したことを思い出してみる。

算数の学習の時に、前に習った学習やお家や習い事などでの経験を思い出してみる。学校で学んだことを学校の外での出来事に当てはめてみる。こうして、様々なことを思い出し、合体させたり分けて整理したりすることで、ヒントが見つかりやすくなります。友達の意見と自分の意見を比べてみることも良いでしょう。

そのためには、ゲーム機などで遊ぶのもいいですが、外で友達と一緒に遊んだり、自然の中で生物を観察したり、家でお手伝いをしたりして、様々な経験をするのが大切です。その経験から学びに結びつくものがたくさんあるからです。

では、今日の授業でも良く考えてみましょう。